

連合宮城

『第77回地方委員会』を開催！



連合宮城は、2024年10月22日(火)、ハーネル仙台(仙台市)において、連合宮城『第77回地方委員会』を開催した。開会にあたって、本年1月1日に発生した「能登半島地震」、9月に発生した「奥能登豪雨」で被災された方々へのお見舞いと、犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、参加者全員で黙とうを行った。議長団には、U Aゼンセン・村山大樹地方委員、情報労連・渋佐礼延地方委員を選出し、スムーズな議事進行に努めていただいた。

《 地方委員51名、役員34名、総勢85名出席 》

冒頭、執行部を代表し大黒会長は、「『ジェンダー平等社会をこの宮城から』と題して開催したシンポジウムにも多くの組合員の皆様にご参加いただき感謝申し上げます。また、2024春季生活闘争では、連合全体で33年ぶりに5%を超える賃上げ水準となった一方で、企業規模間の格差が拡大したことを踏まえ、労務費を含めた適正な価格転嫁をより一層進め、労働価値を認め合う社会へと変えていくことが重要である。なお、人口減少社会における労働力不足、社会保障の増大、経済への影響などの課題が複雑化しているなか、政治の信頼回復と労働組合が生活者の意見を政治に反映できる議員の選出をするため、現在施行中の衆議院議員選挙では、我々の代弁者を国会に送り出す必要がある。棄権することなく投票行動をお願いしたい」と挨拶をした。

その後、一般活動報告ならびに2024年度会計決算・監査報告が承認された後、議案では、2024春季生活闘争まとめ(案)や2025年度運動計画(案)についてなど、8議案が提案され満場一致で承認された。

第77回地方委員会議案

- 第1号議案 2024春季生活闘争まとめ(案)について
- 第2号議案 連合宮城2025運動計画(案)について
- 第3号議案 連合宮城2024年度会計剰余金処分(案)について
- 第4号議案 連合宮城2024年度会計予算(案)について
- 第5号議案 連合宮城規約・規則の一部改正(案)について
- 第6号議案 連合宮城役員の交代について
- 第7号議案 連合宮城役員の表彰について
- 第8号議案 連合宮城新規加盟組合表彰について



【議長団】村山大樹地方委員(左)、渋佐礼延地方委員(右)

連合2024 平和4行動の報告

平和行動 in 沖縄報告

6月23日(日)～24日(月)に開催された「連合2024平和行動 in 沖縄」に対し、連合宮城派遣団として、5名が参加した。

第1部の基調講演では、「再考・日米地位協定～“標的の島”からの警告：米軍、軍拡、憲法、自衛隊～」と題し、沖縄戦の実相を振り返りつつ、終戦後の経過や事件、昨今の情勢などについて、わかりやすい説明を含めた講演があった。

第2部の平和式典では、連合清水事務局長より「沖縄戦で亡くなったすべての方々の想いを胸に本日ご集いの皆さんと平和の尊さ、戦争の悲惨さを次の世代にしっかりと語り継ぎ、二度とこのような悲劇を繰り返さないことを固く誓い合いたい。沖縄に偏った基地の実態や日米地位協定の問題も含めて、連合は政府に対し、国民全体の問題として徹底した議論を重ねると同時に、地域の想いに心を寄せる努力を強く求めていく」と挨拶があった。

2日目は、連合沖縄構成組織役員が中心となりピースガイドを務める「ピースフィールドワーク」が行われ、名護市瀬嵩の浜(辺野古キャンプシュワブ)、道の駅かでな(嘉手納基地)、チビチリガマ(集団自決の地)、嘉数高台(普天間基地)の主に基地を回るコースに参加し、バスの中での説明も含め、それぞれの現地で実態や現状など、肌で感じながら説明を受けて学び、沖縄で行われた地上戦の実相について深めるとともに、平和の大切さを伝えていく想いを一つにした。



平和行動 in 広島報告

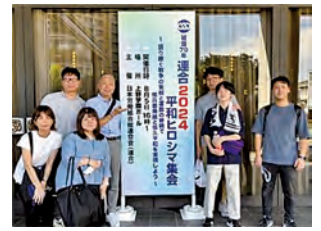
8月5日(月)～6日(火)に開催された「連合2024平和行動 in 広島」に対し、連合宮城派遣団として、7名が参加した。

1日目は、路面電車を利用した「被爆路面電車・乗車学習会」「連合2024平和ヒロシマ集会」に参加し、その後、原爆ドーム前で開催された「連合・原爆死没者慰霊式」に参列した。

平和ヒロシマ集会で連合芳野会長は、「ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの衝突でも核兵器による戦争の抑止力効果はないことが証明された。また、長引く戦闘により、核兵器使用のリスクが高まっていると感じる。核軍縮を進めるためには、人道的な観点から世論形成を進めていくことが極めて重要。唯一の被爆国である日本から核兵器の非人道性を継続して訴えていく必要がある」と挨拶した。

連合・慰霊式では、参加者による献花・献水が行われ、坂本さん親子が代表して献水し、犠牲になられた方への哀悼の意をささげるとともに、戦禍を二度と繰り返すことのないよう参加者全員で祈りをささげた。

2日目は連合宮城独自の視察として、広島平和記念資料館などで学習するとともに、原爆投下の8時15分には、平和の鐘とサイレンの音に合わせて黙祷を行った。子どもも含め参加者は、現地で直接体感することで戦争や原爆の悲惨さや平和の尊さについて改めて見つめなおす時間となり、連合がめざす恒久平和の実現に向けて、平和行動への参加を契機に様々な世代に対し、継続して発信していくとの認識を合わせた。



【主な内容】

(1)2024平和オキナワ集会 (23日)

- ①第1部 基調講演：「再考・日米地位協定」
講師：前泊 博盛 氏 (沖縄国際大学経済学部地域環境政策学科 教授)
- ②第2部 平和式典
主催者挨拶 連合事務局長 清水 秀行
地元歓迎挨拶 連合沖縄会長 仲宗根 哲
来賓挨拶 沖縄県副知事 照屋 義実
来賓紹介、ピースリレー、平和アピール

(2)ピースフィールドワーク(24日)

辺野古～嘉手納基地～チビチリガマ～普天間基地(嘉数高台)

(3)参加者 (5名)

団 長：堀井 弘文さん(情報労連・連合宮城副会長)
参加者：小関 裕明さん(自動車総連)、水野 和哉さん(ゴム連合)、
鈴木 俊弘さん(電力総連)
事務局：菊池 一磨さん(連合宮城副事務局長)

【主な内容】

- (1)被爆路面電車 乗車学習会
- (2)連合2024平和ヒロシマ集会
 - ①基調講演：「被爆80年に向けて 被爆地広島の課題と役割」
講師：宮崎 智三 氏 (中国新聞社特別論説委員)
 - ②被爆体験証言と国連等での活動内容の紹介
講師：箕牧 智之 氏 (広島県原爆被害者団体協議会)
 - ③高校生平和大使(第27代)による活動報告、平和アピール採択
- (3)連合・原爆死没者慰霊式
- (4)連合宮城独自学習 (6日)
 - ①参加者 (7名)
団 長：鈴木 謙一さん(電力総連・連合宮城副会長)
参加者：坂本 徹さん、育隼さん(基幹労連)、色川 奈々さん(情報労連)、
辻村 絵理さん(石巻地協)、瀬戸 陽介さん(青年委員会)
事務局：岸 善則さん(連合宮城副事務局長)

平和行動 in 長崎報告

8月8日(木)～9日(金)に開催された「連合2024平和行動 in 長崎」に対し、連合宮城派遣団として、6名が参加した。

1日目の「2024平和ナガサキ集会」には全体で1989

名が参加し、連合長崎高藤会長は、「戦後79年間、私たちはこの地で起こった実相について発信してきたが、残念ながら世界では紛争



によって一般の多くの市民が犠牲になっている。参加された方は、地域・職場・家庭において感じたことを伝えていただきたい。長崎は広島と連携し核兵器廃絶と世界恒久平和への発信を強めていく」と核兵器廃絶と恒久平和の実現を目指していく決意を述べた。

2日目の「ピース・ウォーク」では、連合長崎の青年委員会ピースガイドから、当時の状況や込められた思いなどについての説明を受けた。最後には長崎市陸上競技場の河川敷で行われた「万灯流し」に参加し、手作りされた万灯に各々恒久平和に向けた祈りの



のメッセージを記入し、河縁にならべ恒久平和を誓った。

その他にも、市内や長崎原爆資料館などで独自の視察や学習を行い、感じたことや恒久平和、核兵器廃絶に向けた行動など、家族や職場で伝えるとともに継続して発信していくとの認識を固めた。

【主な内容】

(1)連合2024平和ナガサキ集会

①基調講演：「被爆者の訴え」

講師：築城 昭平 氏 ((公財)長崎平和推進協会継承部会)

②基調講演：「地球の健康／人間の健康 そして核廃絶」

講師：吉田 文彦 氏 (長崎大学核兵器廃絶研究センター長)

③高校生平和大使からのメッセージ、平和アピール採択、平和フラッグリレー

(2)ピース・ウォーク

(3)万灯流し

①参加者 (7名)

団 長：杉山 剛さん (自動車総連・連合宮城副会長)

参加者：菊池 倭さん (電力総連)

市川 卓海さん・えこさん (私鉄総連)

清野まりあさん (女性委員会)

事務局：菊池 一磨さん (連合宮城副事務局長)



平和行動 in 根室報告

9月7日(土)～8日(日)に開催された「連合2024平和行動 in 根室」に対し、連合宮城派遣団として6名が参加した。

1日目の北方四島学習会では、北海道根室高等学校北方領土根室研究会の類瀬会長より、「北方領土返還を諦めている人が増えてきている中で、この取り組みを止めてしまえば本当に返還されなくなってしまう。途切らすことなく継続して情報を発信し、返還を求めていくことが重要だ」との思いを伺った。

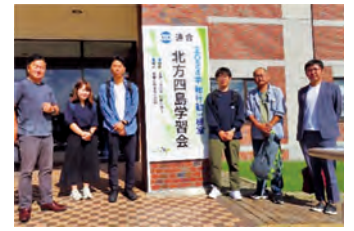
またその後上映された映画「ジョバンニの島」は、北方領土の元島民の方の実経験を踏まえた物語となっており、島民の方々の悲劇が描かれている一方で、『共生』といった視点も描かれており、違う角度から学ぶことができた。

2日目の「2024平和ノサップ集会」は、全国から728名の仲間が結集した。

連合を代表し清水事務局長は、「『平和なくして私たちの暮らしも労働運動もない』我々が置かれている状況は厳しいが、政府間交渉によって北方領土問題が解決され、日露両国において真の意味での戦後を迎えられるその日まで、取り組みを粘り強く継続しなければならない」と挨拶した。

また、元島民の訴えとして、鈴木咲子さんからは「海の向こうに見える近くて遠い故郷が1日も早く返還されることを願い運動を続けてきたが、故郷は未だ帰らず、墓参の道も閉ざされてしまい途方にくれている。無念にも他界していった同胞達の墓前に良い知らせを報告するまで返還要求運動の灯を消すことなく、まっしぐらに進んでまいりたい」と話された。

なお、行動期間中は天候にも恵まれ、会場からも国後島が目視できはつきりと確認することができた。



【主な内容】

(1)北方四島学習会

①基調講演：「北方領土をめぐるこれまでの議論と北方領土根室研究会のこれまでの取り組みについて」

講師：類瀬 智人 氏 (根室高等学校北方領土根室研究会会長)

②映画「ジョバンニの島」

(2)2024平和ノサップ集会

①元島民の訴え、特別報告(竹島問題)、ピースリレー

(3)独自学習

①参加者 (7名)

団 長：加藤 仁さん(U Aゼンセン・連合宮城副会長)

参加者：新関 直人さん(U Aゼンセン)、佐々木大輔さん(全労金)、

佐藤 珠理 (女性委員会)、笠原 弘平 (青年委員会)

事務局：阿部 祥大さん (連合宮城副事務局長)

宮城県の最低賃金

確認しよう！最低賃金

宮城県の最低賃金は以下のとおり改正されております。

適用される最低賃金	時間額	発効日
宮城県最低賃金 ※	973円	令和6年 10月1日
鉄鋼業	1,059円	令和6年 12月15日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,012円	
自動車小売業	1,036円	

さらに、深夜の時間帯(午後10時～午前5時)に勤務した場合は25%が加算されます！

※ 最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を補償する制度です。
年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者が適用となります。

2024年12月

『連合全国一斉集中労働相談ホットライン』を実施します！

連合は、すべての働く人の応援団として労働相談を常時受け付けており、より多くの方々から相談を受けるとともに、現状や課題を社会へ発信することを目的に、年3回(2・6・12月)は統一テーマを掲げ、「全国一斉集中労働相談ホットライン」として、全国47地方連合会が一斉に労働相談を実施しています。

今回は、連合「過労死等防止啓発月間」の取り組みの一環として、長時間労働をテーマに「連合全国一斉集中労働相談ホットライン STOP！長時間労働～あなたの働き方は大丈夫？～」を実施し、電話とLINEで相談を受け付けます。



日時：2024年12月10日(火)～11日(水)
9時00分～18時00分

☎ 0120-154-052

LINE で相談

期間限定 12月10日(火)～11日(水)
10時00分～15時00分(最終受付:14時30分)
<https://line.me/R/ti/p/l0g8YztQbx>



労働相談 チャットボット「ゆにボ」

なんでも労働相談ホットライン
“働くこと”“組合づくり”などのご相談は連合まで。
<https://www.jtuc-rengo.or.jp/soudan/>

